

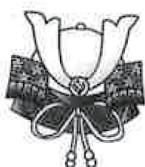
# ほけんだより



5月頃の初夏の季語として『薰風(くんぷう)』という言葉があります。その由来は中国にあり、唐の時代には「薰風自南来(薰風南より来る)」と謳われていたそうです。日本風に読み下して「風薰る(かぜかおる)」といわれることもありますが、どちらも若葉の香りを運ぶ穏やかな風を意味しています。漢詩に使われている薰風は南風で、全ての物を養い育てる風だといわれています。

薰風は中国から入ってきた言葉ですが、日本にも薰風に似た独特の風の名前があります。それが『青嵐(あおあらし)』です。薰風が穏やかな風を意味するのに対して、青嵐は青葉の頃に吹くやや強めの風を意味しています。薰風や青嵐以外にも調べてみると風に関する言葉はとても多く残されており、日本人が風と共に生きてきた証なのかもしれませんね。

真夏のように暑くない為つい忘れてしまいがちですが、晴れて薰風が吹いている日には、紫外線対策が欠かせません。反対に花冷え、花曇りの日には急な気温低下に対応できる服装を心がける必要があります。暑い夏の前にホッと一息つけそうな初夏の季節に、薰風を感じリラックスすることも大切ですが、体調管理にも気を付けたいですね。



## 感染症情報

感染性胃腸炎 1名



※発熱の際は、解熱後24時間以上経過し、呼吸器症状が改善するまでは登園する事が出来ません。ご家庭で丸1日熱のない状態を確認してからの登園にご協力をお願い致します。

※送迎の際には、保護者の方も自宅で必ず検温をお願い致します。検温をしていない場合は、職員に声をかけて下さい。また、体調不良の場合の送迎につきましては、事前に必ず職員に相談していただきますようお願い致します。

※ご家族の方が濃厚接触者となった、体調が悪くPCR検査を受ける事になったという場合は、必ず保育園にもご連絡いただきますよう、ご協力をお願い致します。

※現在、日本脳炎ワクチンの出荷調整が行われている為接種の予約枠を減らしている所や受付を停止している医療機関が出始めています。(日本脳炎の予防接種は第Ⅰ期では3歳で2回、4歳で1回の計3回の接種が基本となっています。) 対象の年齢になりましたら早目にかかりつけ医に相談しましょう。

## 虫刺され



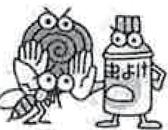
子どもと大人で違います



虫刺されのかゆみは、皮膚に注入された物質に対するアレルギー反応。大人はすぐ症状が出て数時間で軽快するのがほとんどですが、幼児は1~2日後に症状が出てなかなか治らないケースも。かゆみが長引き、搔き壊してしまうと、とびひの原因になることもあります。GWにレジャーを楽しむ際は、上手に虫よけ対策を。

### 虫に刺されないために

- ・肌の露出を控える
- ・少しだけ露出する部分（足首など）にも虫よけスプレーを
- ・携帯用の蚊取り器も活用



保育園では外遊び前に

あか組以上は『KINCHO お肌の虫よけプレシャワーDF ファミリーユース』を1回/日使用します。また腫れや痒みが強い場合は『ムヒ S』を塗布します。

りす・ひよこ組は『手作りの虫よけアロマスプレー』をこまめに使用し、腫れや痒みが強い場合には『ムヒ・ベビーb』を塗布します。

りす・ひよこ組は誤嚥防止の為、虫よけシールの使用はお控え下さい。

5月は過ごしやすいようでいて、実は熱中症に注意が必要な時期。まだ体が暑さに慣れておらず、熱中症になりやすいのです。さらに、子どもは身長が低く地面との距離が近いため、大人よりも高温の環境で過ごしています。体調の変化に周りの大人が気を配ってあげることが大切です。

### こんな様子はありませんか？



- 顔が赤くほてっている
- ひどく汗をかいている

☆ゴールデンウィークも熱中症に気をつけて、楽しい思い出づくりを！

### 防ぐために

- ・水分補給をしっかり
- ・こまめに休憩をとる
- ・暑さに応じて脱ぎ着できる服装を
- ・屋外ではぼうしをかぶる



## シーズン到来！熱中症に気をつけて

※毎年6月頃に実施していた歯科検診ですが、今年度は10月~11月頃に実施する旨、北区から通達がありました。実施日が決まりましたら、改めてご連絡致します。

※細菌検査及び健康診断へのご協力ありがとうございました。結果は、健康カードにてお知らせしています。身体測定の結果と合わせて、ご確認、捺印の上、担任まで返却をお願い致します。また、健康カードがお手元に返却されましたら、予防接種欄の見直しを行い、新たに受けているものがありましたら、ご記入をお願い致します。



日の基保育園